

令和5年度学校評価の課題と改善に向けた具体的な取組等について

滋賀県立膳所高等学校

1 学校評価

生徒、保護者ともに入学して良かったと感じている。学習と班活動との両立に対する生徒の理解や生徒、保護者の満足度はやや低いものとなっている。令和3年度に策定したスクールポリシーの周知を図り、それを柱とした教育活動の実践に注力していく。

2 学習指導

新学習指導要領の趣旨に即した到達目標を定期的に見直し、授業計画や評価の実施を図る。BYODによる1人1台端末のさらなる有効な活用方法を探っていく。研究授業や公開授業、授業アンケート等による授業改善に継続して取り組んでいく。

3 生徒指導

ホームルームにおける仲間づくりを重点的に進めていく。日常における丁寧な生徒観察や担任との面談等を通して、より生徒の実態把握に努め、生徒の自己実現が図れるよう十分な支援に努めていく。

4 進路指導

生徒が高い志を持ち、主体的な進路選択が可能となるように、担任との面談や進路講演会等の取り組みにより支援していく。進路説明会、PTA研修会、保護者会等を通じて、生徒だけでなく、保護者にも本校の進路指導における方針や入試制度についての理解が深められるようにする。

5 特別活動等

学習と班活動との両立が本校での大きな課題となっているが、生徒自身が学習と班活動や生徒会活動、ホームルーム活動と両立することができるよう時間の使い方等自身の生活をセルフコントロールする能力が高められるような指導を講じていく。

6 学校図書館

「図書館だより」の発行や館内特設コーナーの設置、ホームページや公式 Instagramでの情報発信に引き続き積極的に取り組んでいく。また、「本と触れ合える場」だけにとどまらず、生徒たちが自然と集える居場所としての役割も果たせるよう工夫していく。

7 保健・安全指導

学校安全や学校防災への取り組みをさらに進めていく必要がある。機器管理の意識を生徒や保護者とも共有できるよう工夫していく。教育相談については、担任や養護教諭だけでなく、スクールカウンセラーや校外の相談窓口を積極的に活用し、生徒や保護者がいつでも相談できる体制づくりを進めていく。

8 人権教育

3年間を通した体系的な人権教育計画に基づいて進めていく。生徒の主体的な取り組みや講演会、アンケート等により生徒の実態把握に努め、正しい理解に基づいた人権意識の一層の向上をめざしていく。

9 環境教育

環境美化を意識し、日常の校内清掃活動をより一層充実させるとともに、地域での清掃活動にも積極的に取り組む意識を向上させていく。また、ゴミ問題をはじめとする環境課題について、各教科での学習とも関連づけながら意識を高めていく。

10 事務・管理

生徒や教職員にとって、安心安全な環境づくりのために、日常の継続的な安全点検・確認と、経年劣化している施設・設備などの修繕に取り組んでいく。

11 その他学校の取組み

一昨年度にリニューアルしたホームページや今年度解説した公式 Instagram のより有効な活用方法を模索し、積極的に本校の良さを校外に発信していく。